

報道関係者 各位

## オキシトシンはイヌの“友情”を育む

オキシトシン経鼻投与によってイヌの親和的社会行動が促進される

麻布大学と東京大学の共同研究により、母子間の絆形成に関与するホルモンであるオキシトシンが、イヌとその飼い主および同居犬との親和的な関係維持にも重要な役割を担っていることが示された。

### 【発表内容】

オキシトシンは哺乳類では視床下部で産生され、母子間や雌雄間の絆形成において重要な役割を担うホルモンである。ヒトにおいては絆形成に加えて、信頼や寛大さ等のより複雑な協力行動の促進にも関与している。今回の麻布大学と東京大学の共同研究では、オキシトシンがイヌと彼らの飼い主および同居犬との親和的な関係の維持にも関与していることが示された。

本研究には 16 頭のイヌとその飼い主および同居犬が参加した。それぞれのイヌにオキシトシンあるいは生理的食塩水を経鼻投与し、その後に飼い主と同居犬と一緒に過ごした間の行動を観察した。オキシトシンを投与されたイヌは生理的食塩水投与に比べてより多くの向社会行動を示し、特に飼い主に対する高い志向性と親和性、同居犬に対する高い親和性がみられた。本研究の結果は、イヌにおいてオキシトシンが母子間や雌雄間の絆とは異なる親和的な関係の形成に関与していることを示唆している。社会的関係の量と質は、ヒトでも動物でも寿命や子孫の生存に影響することから、これは非常に重要な発見である。また、オキシトシンは社会的な協調性や機能に障害をもつ人達に対する有望な治療薬の候補になりうると期待される。

### 【発表者】

ポスト・ドクター テレサ・ロメロ (東京大学 大学院 総合文化研究科) (日本学術振興会 特別研究員)

ポスト・ドクター 永澤 美保 (自治医科大学 医学部) (麻布大学 獣医学部)

准教授 茂木 一孝 (麻布大学 獣医学部)

教授 長谷川 寿一 (東京大学 大学院 総合文化研究科)

教授 菊水 健史 (麻布大学 獣医学部)

### 【発表媒体】

雑誌: Proceedings of the National Academy of Sciences 題名: Oxytocin promotes social bonding in dogs.

著者: Teresa Romero, Miho Nagasawa, Kazutaka Mogi, Toshikazu Hasegawa, and Takefumi Kikusu.

◎本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

麻布大学 総務部 経営企画課 (入試・広報) 山崎・池田 TEL:042-769-2032 (直通)

〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-17-71 FAX:042-850-2505 E-mail:koho@azabu-u.ac.jp

※本リリースは、本学 WEB サイト <http://www.azabu-u.ac.jp/>でも御確認いただけます。

オキシトシンはイヌの“友情”を育む  
〈取材申込書〉

下記の事項を御記入の上、取材希望日の2日前までにFAXにて御連絡ください。

取材希望日 平成 年 月 日 ( ) : ~ :

貴社名 \_\_\_\_\_

媒体名 \_\_\_\_\_

部署・役職名 \_\_\_\_\_

取材代表者名 \_\_\_\_\_ 他 ( ) 人

撮影の有無 無し ・ あり ( 写真 ・ 映像 )

御連絡先 TEL ( ) \_\_\_\_\_

FAX ( ) \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_  
所在地 \_\_\_\_\_

〈取材について〉

- 取材当日は、自社の腕章又は本学経営企画課（入試・広報）でお渡しする本学の腕章を着用してください。
- 映像の場合は放映日、記事掲載の場合は掲載日を事前に御連絡ください。  
なお、掲載紙・誌の送付を併せてお願いいたします。

〈申込先〉

**FAX : 042-850-2505**

麻布大学 総務部 経営企画課（入試・広報）